

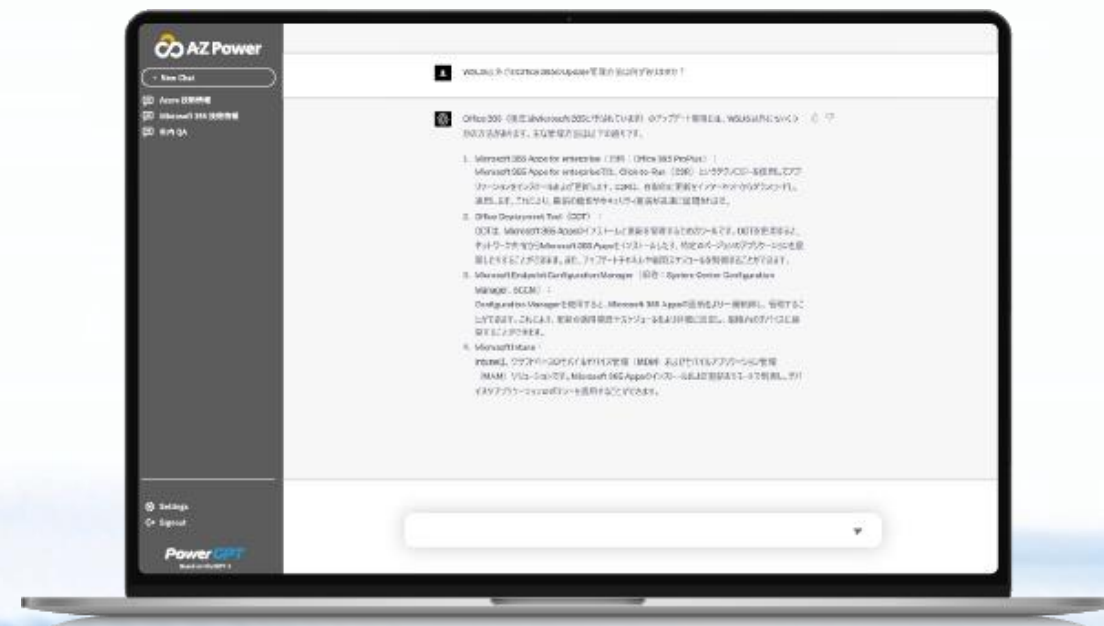
「自社専用のChatGPT」、「情報が外部に漏れないセキュアなChatGPT」

Azure OpenAI Serviceを利用した  
企業専用ChatGPTインテグレーションサービス

# PowerGenAI

Integration with Azure OpenAI Service

企業内ナレッジを活用した企業専用オリジナル「ChatGPT」環境を構築  
企業のDXが急激に加速します



クラウドに新しい力をプラスする



AZPower株式会社はMicrosoft Cloud Partner ProgramのSolutions Partnerです。

コア・バリュー クラウドに新しい力（価値）をプラスしてお客様のビジネスを変革します

会社名	AZPower株式会社
代表取締役	橋口 信平
東京本社	〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目4 一広グローバルビル
資本金	332,500,000円
事業種別	Microsoft Cloudに特化したクラウドインテグレーション事業 クラウドを活用したIoTプラットフォーム提供事業 クラウドを活用したLMSサービス提供事業

<https://azpower.co.jp>



- ✓ インフラストラクチャ
- ✓ デジタルおよびアプリイノベーション

AZPowerはマイクロソフト社より**2分野のSolutions Partner**として認定されており、さらに上位資格として高度な専門性を有する企業を認定する「**Specialization**」を**2つの分野で取得**しております。

## AZPowerはマイクロソフト社の「Specialization」を日本ではじめて取得しました

Azureの  
インフラ分野での  
高度な専門性



Infrastructure  
Azure

Specialist  
Infra and Database Migration



Azureにおける  
アプリケーション開  
発分野での  
高度な専門性



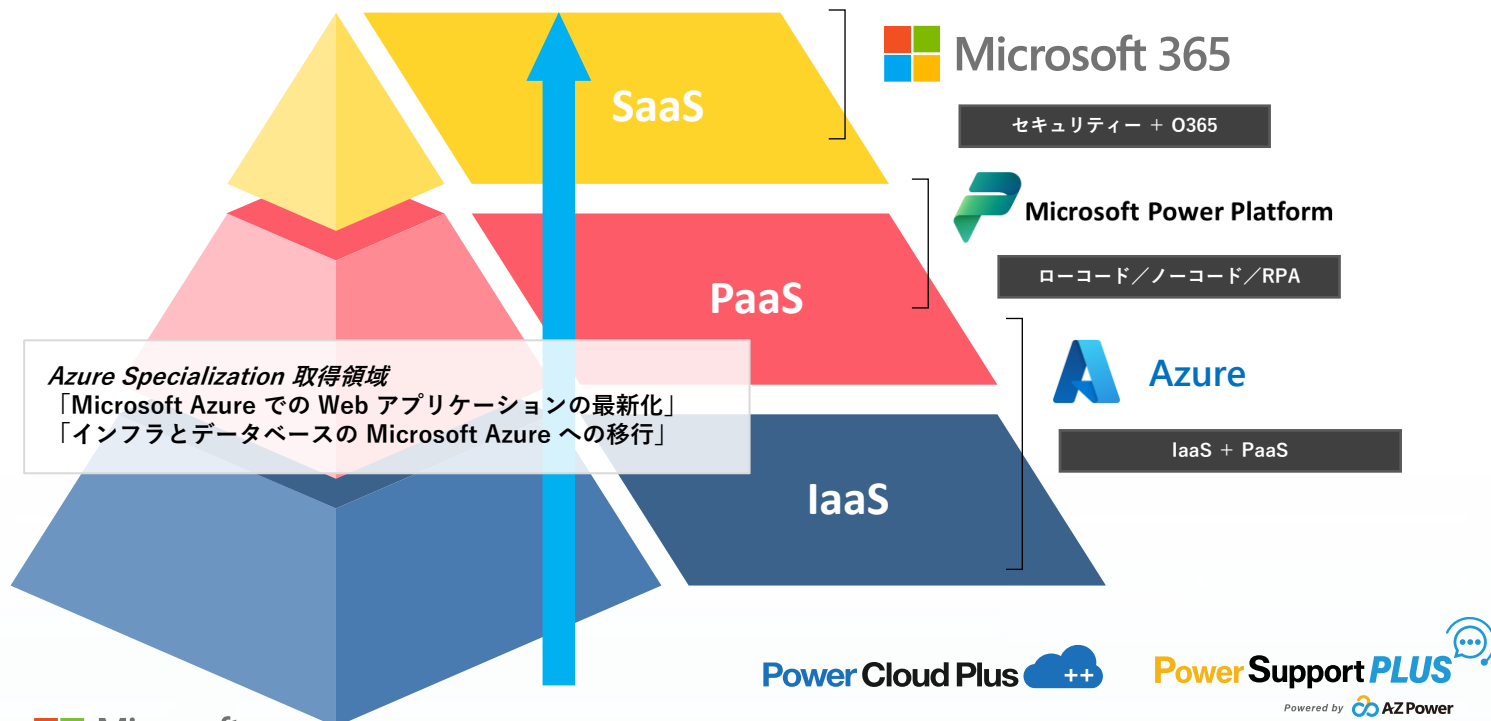
Digital & App Innovation  
Azure

Specialist  
Modernization of Web  
Applications

2020年10月9日、国内パートナーとして第一号の取得。

2021年7月6日取得、インフラ分野に続いて2つ目の取得。

インフラ・アプリケーション開発の両面で「Specialization」の認定により「高度な専門性」を有することを証明しております。  
Azure専門のクラウドインテグレーターとして、安心してお客様のAzure活用をワンストップでおまかせください。



**Azure Specialization 取得領域**  
 「Microsoft Azure での Web アプリケーションの最新化」  
 「インフラとデータベースの Microsoft Azure への移行」



エンジニア MS資格取得数 29分野 97資格

ネットワーク、ID管理を強みとしたインテグレーション  
 フルクラウドリファレンス  
 Azure、M365ライセンス提供 クラウドサポート

**Power SKILL**  
Learning Platform  
 カスタマイズ自由  
 大企業向けクラウド型LMSサービス

---

**CREW SYSTEMS**  
 クラウド型AI監視カメラサービス

---

Azure をフル活用できる IoT プラットフォーム  
**Power IoT Platform**  
 IoTの自社MDMサービスを中心とした垂直統合サービス

---

**PowerDevPlus**      **VINAYAMATO**  
**MUSASHI**

PaaSを活用したスピード開発／企業DX実現

マイクロソフト社  
 最新クラウドテクノロジーをフル活用

LIFT & SHIFT

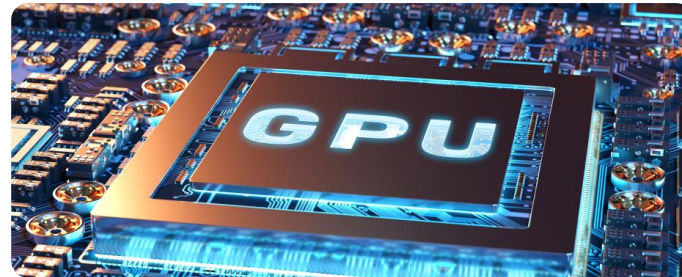
# 企業がAIを活用する時代





### データの増加

インターネットやスマートフォン、IoTなどにより、ビジネスに活かせる膨大なデータが生成された。人間だけではデータの処理や分析に限界があるため、AIを活用することで、データから有益な知見を得ることが可能になった。



### コンピューティングパワーの向上

クラウドコンピューティングの発展により、安価かつ容易にAIを利用できるようになった。クラウドコンピューティングは、インターネット経由で必要な分だけコンピューティングリソースを利用できるサービスである。これにより、企業はAIの導入コストや運用負荷を大幅に削減できるようになった。



### AI技術の進化

ディープラーニングと呼ばれる技術は、多層のニューラルネットワークを用いて、複雑な問題を解くことができる。ディープラーニングは画像認識や自然言語処理などの分野で優れた成果をあげており、人間の仕事を代替する可能性も高まっている。

1

業務効率や生産性の低下

- 人間の手による作業をAIに代替できない
- データ分析や予測などをAIに任せられない
- ヒューマンエラーや時間ロスなどの問題に直面する
- 競争力や収益性が低下する

2

顧客満足度やブランドイメージの低下

- 顧客のニーズや好みに応じた商品やサービスを提供できない
- 問い合わせや対応などをスムーズに行えない
- 顧客の期待に応えられなかったり、対応が遅れたりする
- 顧客の不満や離反を招く

3

新しいビジネスチャンスやイノベーションを機会の喪失

- 新たな発見や知見を生み出したり、創造的なアイデアや提案を行ったりすることができない
- 新しいビジネスチャンスやイノベーションを創出する可能性が低い
- 機会を見逃したり、他社に先を越されたりする



OpenAIは、非営利団体からLimited Partnershipに移行し、Microsoftから10億ドルの投資を受けました。その後、GPT-3やCodexなどの大規模生成AIモデルをAPI経由で有料で提供することで収益化を開始しました、GPT-4やCodexなどの強力な言語モデルを開発しています。OpenAI APIは、これらのモデルをREST APIとして提供しており、開発者は自然言語処理やテキスト生成などの機能を利用できます。

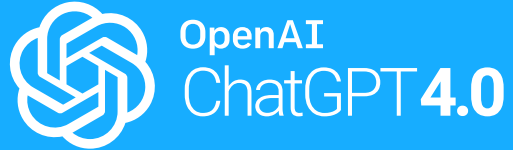
代表的なモデル



DALL·E 2

CLIP: Connecting text and images





## ChatGPTとは

OpenAIが開発した対話に特化した言語モデルで、テキストプロンプトに対して自然言語で応答するAIチャットボット。詩や歌、小説、コードなどを生成したり、プログラミングやエクセルの関数入力などを行ったりすることができる。

## ChatGPT-3.5とは

ChatGPTの旧バージョンで、2022年11月に一般公開された言語モデル。無料で利用できるが、創造性や論理性に欠ける場合がある。

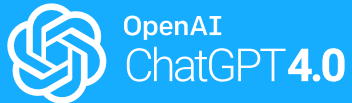
## ChatGPT-4.0とは

ChatGPTの新バージョンで、2023年3月15日から利用できるようになった言語モデル。月額20ドルのサブスクリプションプラン「ChatGPT Plus」に登録する必要があるが、創造性や論理性が向上し、画像入力にも対応している。



ChatGPT を活用した  
チャットボット

ChatGPTは、自然言語処理やテキスト生成などの機能を提供するAI技術です。チャットボット開発において、ChatGPTを利用することで、高品質な対話やコンテンツを生成し、カスタマーサービスやマーケティングなどの業務を効率化できます。



## 企業内活用イメージ

### 顧客対応

顧客からの問い合わせや要望に対して、迅速かつ適切な回答や提案を行うことができます。また、ChatGPTは自然な対話を生成することができるため、顧客満足度やロイヤリティを向上させることができます。

### 社内コミュニケーション

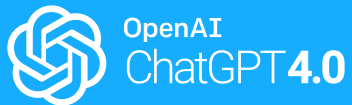
社内の情報共有や連絡事項などのコミュニケーションを効率化することができます。また、ChatGPTはユーモアや感情などの要素も含めた対話を生成することができるため、社内の雰囲気やモチベーションを高めることができます。

### 知識管理

社内の知識やノウハウなどの情報を整理し、検索や参照などのアクセスを容易にすることができます。また、ChatGPTは質問に対して回答や要約などの形式で情報を提供することができるため、学習や教育などの目的にも活用できます。



ChatGPTは、テキストデータから有用な情報を抽出したり、分類したり、要約したりすることができます。テキスト分析において、ChatGPTを利用することで、ビッグデータの分析やレポート作成などの業務を高速化できます。



### 企業内活用イメージ

#### 市場調査

市場の動向や顧客のニーズなどを分析することができます。また、ChatGPTはテキストデータからインサイトやトレンドなどを抽出することができるため、戦略立案や意思決定に役立てることができます。

#### マーケティング

マーケティングに関するテキストデータを分析することができます。広告やSNSなどのコンテンツの効果測定や改善、キャンペーンやプロモーションの企画や評価に活用できます。テキストデータからセグメントやパーソナライズなどを生成し、それを活用することもできます。

#### リスク管理

リスクに関するテキストデータを分析することができます。法律や規制などのコンプライアンスの確認や遵守、不正や詐欺などの検出や予防、クレームや苦情などの対応や解決などです。ChatGPTはテキストデータからリスクの原因や影響などを特定することができるため、リスクの評価や対策にも活用できます。



ChatGPTは、自然言語からコードへの翻訳や、画像や音声などのメディアへの変換などの機能も提供します。オンラインコンテンツ生成において、ChatGPTを利用することで、ウェブサイトやブログなどのコンテンツ作成や更新などの業務を自動化できます。



### ウェブサイトやブログのコンテンツ作成

ウェブサイトやブログなどのオンラインコンテンツを自動的に生成することができます。また、ChatGPTは自然言語からコードへの翻訳や、画像や音声などのメディアへの変換などの機能も提供します。これにより、コンテンツの品質や多様性を向上させることができます。

### 企業内活用イメージ

### SNSやメールなどのコンテンツ作成

SNSやメールなどのコミュニケーションツールにおけるコンテンツを自動的に生成。フォロワーや顧客との対話やエンゲージメントを促進するための投稿やメッセージなどです。ユーモアや感情などの要素も含めた対話を生成することができるため、コミュニケーションの効果や魅力を高めることができます。

### ドキュメントやレポートなどのビジネス文書の作成

ドキュメントやレポートなどのビジネス文書を自動的に生成することができます。データや分析結果から要約やインサイトを抽出したり、提案書などのフォーマットに沿って文書を作成したりすることができます。文法や表現などの品質も保証することができるため、ビジネス文書の信頼性や説得力を高めることができます。



企業がSaaS版ChatGPTを使う場合には、データセキュリティ、プライバシー、パフォーマンス、カスタマイズ、依存度など、様々なリスクや課題が存在します。そのため、導入前には、適切なリスクマネジメントが必要となります。

リスク & 課題	内容
企業データの漏洩	会話データがOpenAIの学習に利用されてしまい、企業のナレッジ流失につながる。
ID管理	社員がどのような使い方をしているのかわからない。 ID単位で、プロンプト（ChatGPTに指示を出すためのテキスト）と返答がわからず、証跡が残らない。
ナレッジ共有	社員のナレッジは他の社員には伝わらない。
利用状況分析	社員、会社として分析できない。
カスタマイズ性	カスタマイズはできない。
課金	ID課金となるため、社員数の応じて膨大なコストとなる
プライバシーの問題	ChatGPTを利用するには、顧客の個人情報が含まれる可能性がある。そのため、プライバシー保護について適切な措置を講じる必要がある。
偽情報や差別的な言葉の生成	ChatGPTは大量のデータから学習したモデルを用いて生成されるため、偽情報や差別的な言葉の生成につながる可能性がある。そのため、企業はChatGPTを利用するには、生成される言葉や内容を適切にチェックすることが必要。
法的な問題	ChatGPTを利用した内容が、法的な問題を引き起こす可能性がある。例えば、著作権やプライバシーなどの問題が生じることが考えられます。そのため、企業は法的なリスクについても適切な対策を講じる必要がある。
信頼性の問題	ChatGPTは、大量のデータを学習することで生成されたモデルを用いているため、完全な正確性を保証することはできない。そのため、企業がChatGPTを利用するには、生成された内容を適切にチェックし、信頼性についても考慮する必要がある。
セキュリティの問題	ChatGPTを利用することで、企業のシステムやデータが攻撃の標的となる可能性がある。そのため、APIを利用するには、セキュリティについても適切な対策を講じる必要がある。
フィッシングへの悪用	ChatGPTは自然な対話を実現しているため、サイバー犯罪者がユーザーから情報をだまし取るために利用される可能性がある。例えば、「スピアフィッシング」と呼ばれる攻撃手法がある。ターゲットとなる人物のプロフィールを調査し、そのターゲットに狙いを絞ってフィッシング詐欺を凶る攻撃。ターゲットの情報を基に、ChatGPTで巧妙に作られたフィッシングメールを送り付ける事例が報告されている。
悪性コードの作成	ChatGPTはコードの生成も可能であるため、悪意のある人物によって悪性コードを作成するために利用される可能性も否定できない。ChatGPTを用いて自動的に悪性コードを作成し、システムに侵入するための脆弱性を突く、といった攻撃への注意も喚起されている。
風評被害につながる恐れ	ChatGPTは人工知能を用いた自然な対話を可能にするため、不適切な発言や情報を拡散する可能性がある。例えば、ChatGPTが人種差別的な言葉を使用すると、その情報が拡散され、社会的な風評被害を引き起こす可能性がある。



# PowerGenAIについて

Azure OpenAI Serviceを利用した  
企業専用ChatGPTインテグレーションサービス

**PowerGenAI**

Integration with Azure OpenAI Service

企業内ナレッジを活用した企業専用「ChatGPT」環境を構築して  
次世代AIを社内外に活用しDXを実現しませんか？

Azure OpenAI Service上にお客様専用の「ChatGPT」  
サービスを構築するため情報は安全に守られます。

自社データを活用した業界特化型オリジナル  
「ChatGPT」サービスを展開できます。

ID管理、自社員のチャットデータ利用状況分析、プロンプト管理が可能です。

お客様の用途に応じて、AzureのPaaS機能を活用しカスタマイズできます。

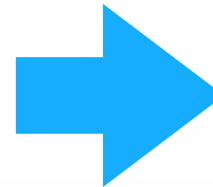
企業内ナレッジを活用した企業専用「ChatGPT」環境を構築  
企業のDXが急激に加速します



非営利の研究機関であり、GPT-4やCodexなどの強力な言語モデルを開発しています。OpenAI APIは、これらのモデルをREST APIとして提供しており、開発者は自然言語処理やテキスト生成などの機能を利用できます。

## 代表的なモデル

1. GPTシリーズ (Generative Pre-trained Transformer) : GPTシリーズは大規模な自然言語処理モデルであり、多くの言語タスクに適用できます。最も新しいバージョンはGPT-4ですが、GPT-3も非常に有名で、一般的に利用されています。
2. DALL-E: DALL-Eは、自然言語の説明に基づいて画像を生成するモデルです。テキスト入力から意味のある画像を生成する能力が非常に高いとされています。
3. CLIP: CLIPは、画像とテキストの情報を同時に学習し、両方のドメインでの理解を向上させることを目的としたモデルです。画像認識タスクやテキストから画像への変換タスクにおいて、優れた性能を示しています。



## Azure OpenAI Service

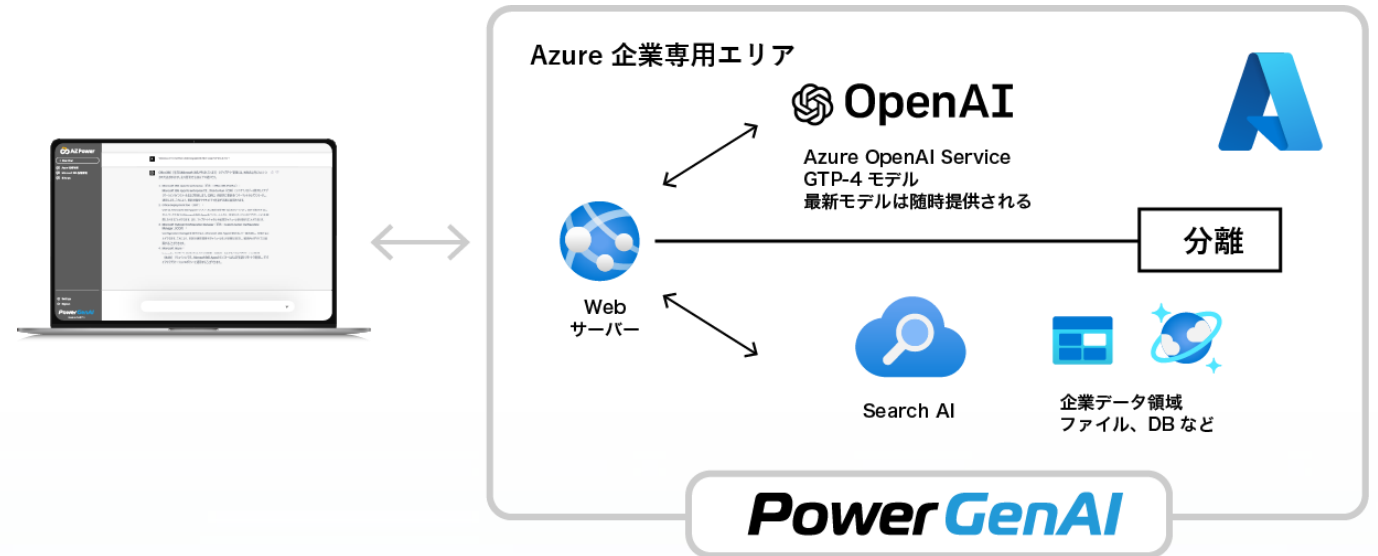
- ✓ Azure OpenAI Serviceは、MicrosoftとOpenAIが共同開発したサービスであり、OpenAIのモデルをAzure上で利用できるようにしています。Azure OpenAI Serviceでは、Azureのセキュリティや信頼性、データプライバシー、ID認証、有害コンテンツのフィルターなどを実現しながら、OpenAIと同じモデルを実行できます。また、Azure OpenAI ServiceはAPIを提供しており、自然言語処理、テキスト分析、画像認識、音声認識、機械翻訳などの機能を提供しています。また、開発者はPythonやJavaScriptなどの一般的なプログラミング言語を使用して、Azure OpenAI Serviceサービスを統合することができます。Azure OpenAI StudioというWebベースのインターフェイスも提供しており、モデルの探索や微調整ができます。
- ✓ OpenAI APIとAzure OpenAI Serviceは互換性があるため、一方から他方への移行がスムーズにできます。ただし、OpenAI APIの方が恐らくGPT-4が先に提供される可能性があります。また、Azure OpenAI ServiceはSLAで可用性が保証されています。

AIを法人用途に使うためのリスクマネジメントが可能に

PowerGenAIでできること

1

AIモデル（GPT）と企業データは分離されており、企業データが全体のAI学習に活かされないから法人でも利用できます。

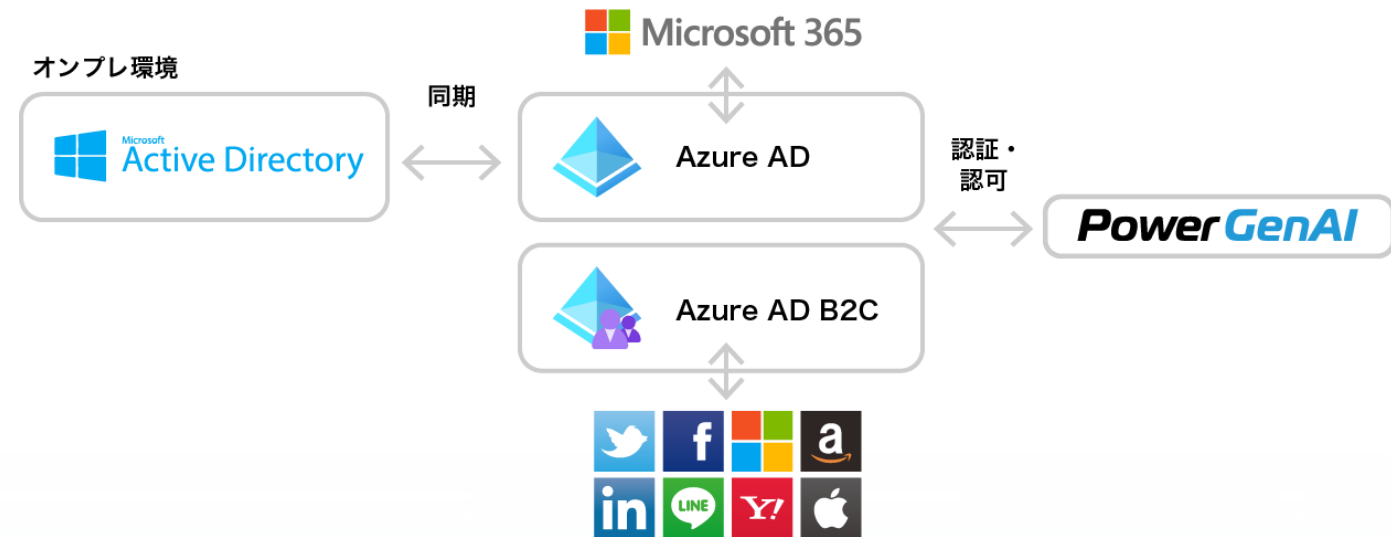


ユーザーが個人登録してChatGPTを利用する場合、会話データはOpenAI社のデータセンターに格納され、全体AIの学習に利用されますが、PowerGenAIであれば、企業データとモデルは分離されているため学習に利用されません。

## PowerGenAIでできること

# 2

ID管理が徹底でき、なりすましでログインすることができないから安心です。



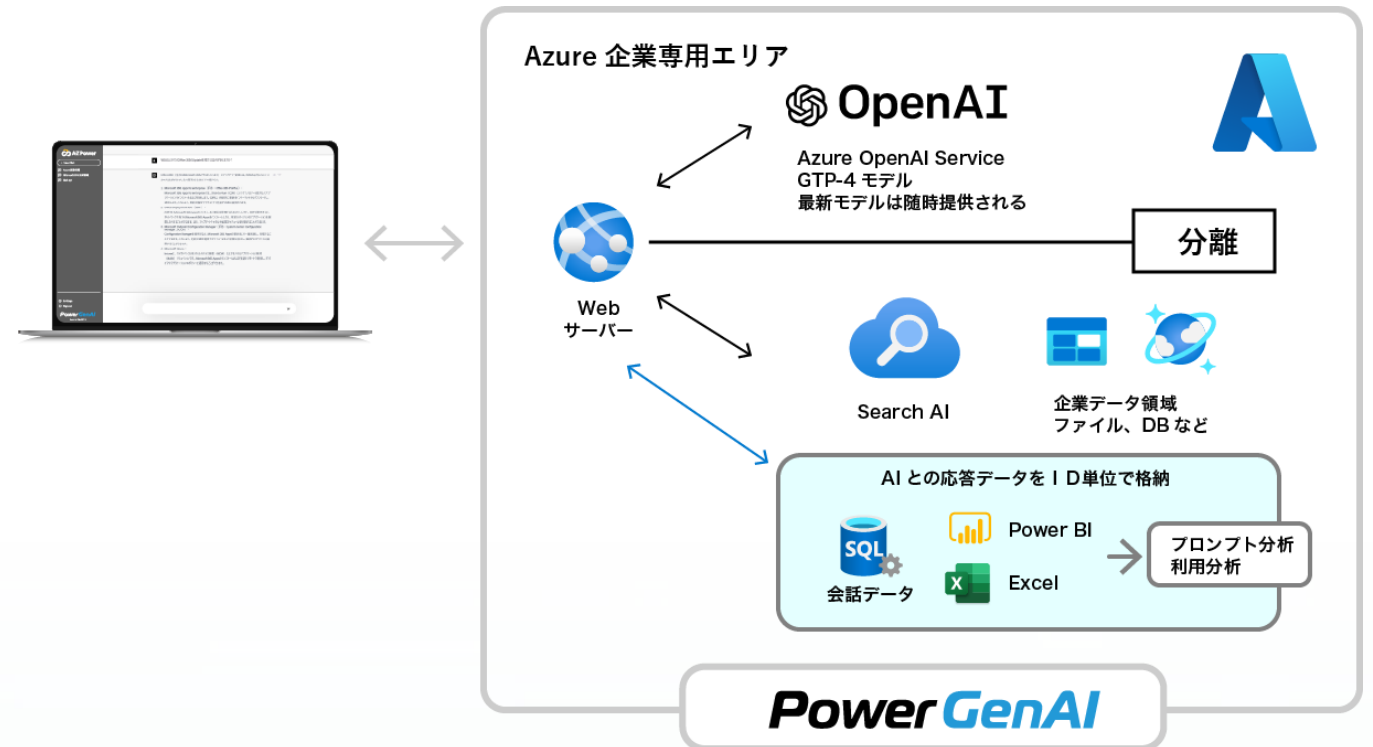
Azure AD連携ができるため、Office365、Microsoft365ユーザーは、シングルサインオン、また社内の認証基盤であるActiveDirectoryとの連携も可能となり、ID、PWの一元化運用と、多要素認証によるなりすまし防止も可能となります。Azure AD B2Cを利用し、ソーシャルID、電子メール、アカウントとのID連携も可能なため、社外のお客様に対するDXサービスの展開も容易です。



PowerGenAIでできること

3

会話データは、ID単位に企業内領域に格納されるため様々な用途に分析・応用できるためPDCAが可能です。

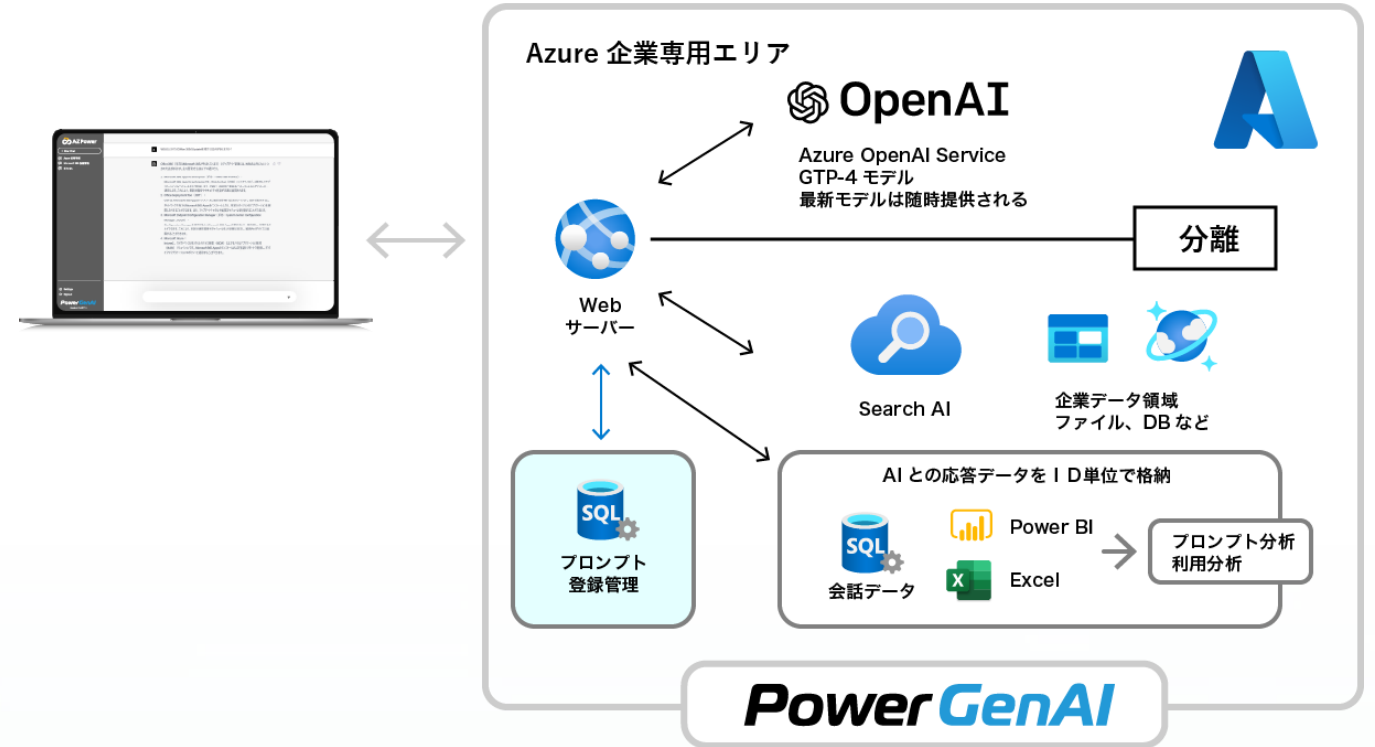


会話データは、企業内領域に格納され、PowerBIやエクセルなどを活用し分析することができます。優秀な社員のプロンプト（AIへの質問や命題、指示）活用を分析して、プロンプト集を作成したり、インプットされた情報をさらに、企業データに加え、回答精度を上げたりすることに応用するなど、様々なアイデアをもたらしてくれます。

# PowerGenAIでできること

# 4

プロンプト（AIへの質問や命題、指示）を管理者が登録し、社員のAIに対するスキルのばらつきを平準化させることができます。



ChatGPTに指示を出すためのテキストは、社員のスキルによってばらつき、場合によっては結果の精度低下にもつながります。PowerGenAIでは業務効率化に役立つプロンプトを個別に登録管理することができます。優秀な社員のプロンプトを参考にし、新人教育に役立てるなどの活用が可能です。

# サービスメニュー

お客様専用のAzure環境を構築し、お客様データを活用したチャットGPT環境をテスト的にご利用いただけます。

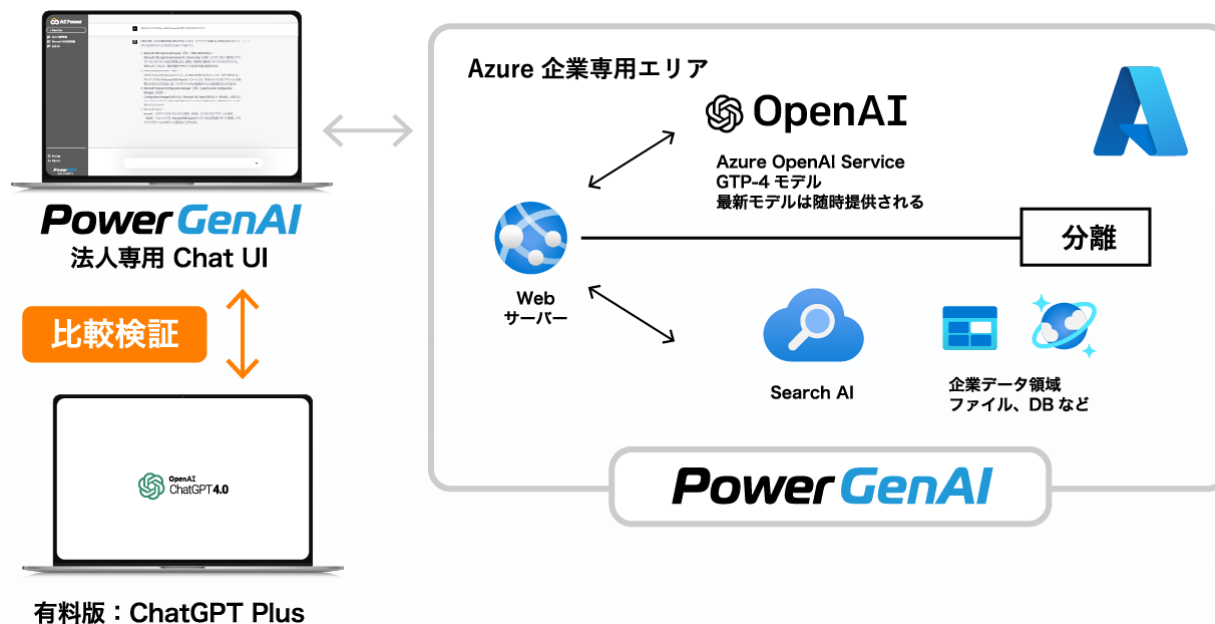
## シナリオ①

### 企業データから情報をChatGPTが自然言語返答できる

#### パッケージ内容：

- 環境構築・チャットUI（WEB）
- お客様専用のOpenAI、サーチAI環境を構築
- お客様サンプルデータをAzure上に格納（テキスト情報）
- クラウド専有版 法人専用Chat UIを利用しChatGPT PLUSとの返答の違いを確認

ご提供価格：300万円～  
※別途Azure利用料がかかります。



お客様専用のAzure環境を構築し、お客様データを活用したチャットGPT環境をテスト的にご利用いただけます。

## シナリオ②

### ChatGPT4の標準機能をAzure上で利用

パッケージ内容：

- 環境構築・チャットUI（WEB）
- お客様専用のChatGPT-4利用環境を構築



ご提供価格：200万円～  
※別途Azure利用料がかかります。



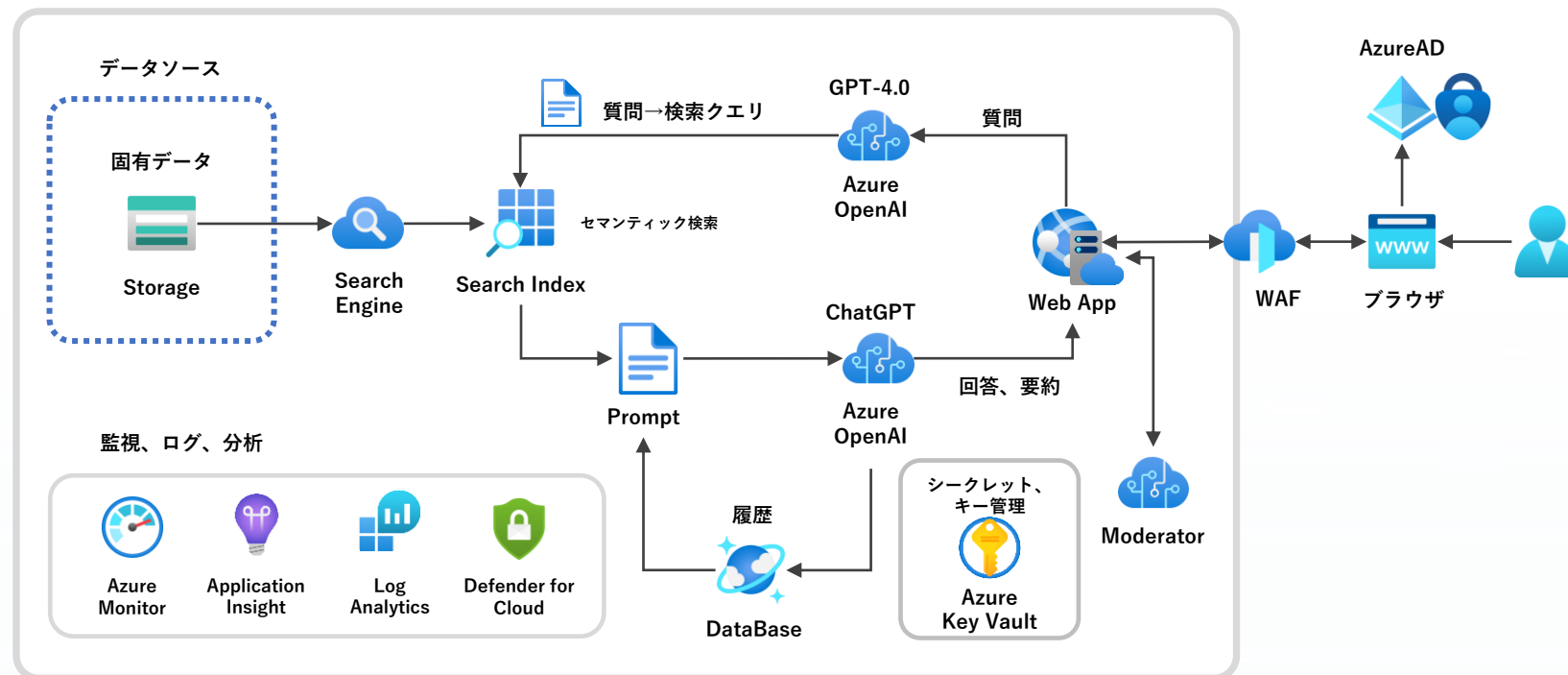
PoCパッケージをご利用いただきながら、実運用に即したお客様ニーズを要件定義しシステム実装します。

機能要件・セキュリティ要件等、貴社ご要件に合わせた開発を実施します

### 内容：

- 環境構築・チャットUI (WEB)
- 要件定義を基にご提案、お見積り
- ご要件をもとに開発

※別途Azure利用料がかかります。



※オリジナル開発 サービス構成例

# 「ChatGPT」と「PowerGenAI」の違い

ChatGPT	ポイント	PowerGenAI	PoC	開発
会話データがOpenAIの学習に利用されてしまい、企業のナレッジ流失につながる	企業データの漏洩	会話データはすべて、自社専有クラウド環境に格納されるためデータの危険性はない	○	○
意図的には不可能	自社データの活用	自社データ資産の活用が可能 AIモデル（GPT）と企業データは分離されており、企業データが全体のAI学習に活かされないから安心	○	○
不可能	複数用途シナリオ対応	企業のデータを用途別に分けて、GPTモデル、サーチAI、チャットUIと紐づけ可能。 （例 サポート用途、営業支援用途 など）		△
社員がどのような使い方をしているかわからない	ID管理	AzureADを活用しID単位でプロンプトとやり取りをデータベースに保存できる		△
社員がどのようなプロンプトを使ったのか共有できない	ナレッジ共有	プロンプトを登録しほかの社員が活用できる（優秀な社員を真似できる）		△
社員会社として分析できない	利用分析	ID単位、全社単位で利用分析をPowerBIにて可視化できる		△
SaaSサービスなので不可	カスタマイズ性	法人専用の環境「クラウド専有版」となるため様々なカスタマイズが可能	○	○
最新モデルを活用するには月額2,700円がID数必要になる	課金	Azure利用料で最新のモデルを活用できる。全社導入コストを削減でき、全社員にも活用させることができる。	○	○
OpenAIのテクノロジーに依存	発展性	OpenAIや他社の学習済みAIを活用し発展できる	△	△
個人での加入となるため企業として証跡を残せない	偽情報や差別的な言葉の生成 風評被害 法的な問題	プロンプト、やり取りをID単位でデータベース化しており証跡として残し対応することが可能		△
SLAなし	信頼性の問題	AzureのSLAを適用	○	○
ID、PWあれば、インターネット上から誰でもログインできる	セキュリティーの問題 なりすまし フィッシング 悪性コードの作成	AzureADにより、社内ID管理と統合可能 多要素認証によるなりすまし防止 IPアドレス制御 閉域網での利用（インターネット利用禁止）も可能		△
顧客の個人情報が含まれる可能性がある	プライバシーの問題	顧客の個人情報を排除する機能	○	△

## Q：「PowerGenAI」の導入にかかる費用はどれくらいですか？

費用はサービスメニューによって異なります。「PoCパッケージ」のシナリオ②は200万円～となっています。  
「PoCパッケージ」のシナリオ①、「開発パッケージ」のそれぞれの費用は、お客様の要件に応じて柔軟に対応いたしますので、ヒアリング後概算費用をご提示させていただきます。

## Q：「PowerGenAI」はどのような業界や業種で利用できますか？

業界や業種を問わず、幅広く利用できます。社内情報共有や知識管理、教育、文章作成、市場調査、マーケティング、プログラミングサポート、顧客対応など、多様なビジネスシーンで活用できるサービスです。

## Q：「PowerGenAI」の導入において、必要なITリソースはどの程度ですか？

Microsoft Azure OpenAI Services上に構築されますので、お客様の既存のITリソースやインフラへの影響は最小限です。AzureのPaaS機能を活用して、カスタマイズや機能追加も容易に行えます。

## Q：社外パートナーや顧客とのコミュニケーションにも「PowerGenAI」を活用できますか？

はい、「PowerGenAI」はAzure AD B2Cを利用し、ソーシャルID、電子メール、アカウントとのID連携が可能です。これにより、社外のお客様やパートナーとのDXサービスの展開が容易に行えます。

## Q：AIモデルのアップデートはどのように行われますか？

Azure OpenAI Servicesを通じて最新のAIモデルが提供されます。アップデートのタイミングや方法については、サービス契約の内容に応じて対応いたします。

## Q：社内データを活用する際のセキュリティはどのように確保されていますか？

Azure OpenAI Services上にお客様専用の環境を構築し、企業データとモデルが分離されるため、情報が漏洩するリスクを低減できます。また、ID管理が徹底されており、Azure AD連携や多要素認証により、なりすまし防止も可能です。また、Azure OpenAIではモデルの再トレーニングに顧客データは使用されません。

[Azure OpenAI Service に関してよく寄せられる質問 - Azure Cognitive Services | Microsoft Learn](#)

### Q：社内での「PowerGenAI」の導入に伴う教育やサポートは提供されていますか？

はい、導入時にお客様に合わせたトレーニングやサポートを提供いたします。また、定期的なサポートやアップデート情報も提供させていただきます。

### Q：「PoCパッケージ」のシナリオ1とシナリオ2の違いは何ですか？

シナリオ1では、企業データをもとにChatGPTが自然言語で返答する機能を利用できます。シナリオ2では、OpenAI社の提供するChat GPTの有償サービス「ChatGPT Plus」の標準機能をAzure上でセキュアに活用できます。お客様のニーズに応じて選択することができます。

### Q：「PowerGenAI」のサポート体制はどのようになっていますか？

AZPowerでは、お客様のデジタルトランスフォーメーション（DX）を最新のマイクロソフトクラウド技術でサポートします。導入後も、技術的な問題やカスタマイズのご要望などに対応するサポート体制を整えています。詳細なサポート内容については、お問い合わせいただくか、資料をご参照ください。

### Q：導入には、どの程度の時間がかかりますか？

「PowerGenAI」の導入期間は、選択されたサービスメニュー（PoCパッケージまたは開発パッケージ）やカスタマイズ内容によって異なりますが、最もシンプルなPOCパッケージシナリオ2では約1か月で導入できます。

### Q：他のプラットフォームと「PowerGenAI」を連携させることは可能ですか？

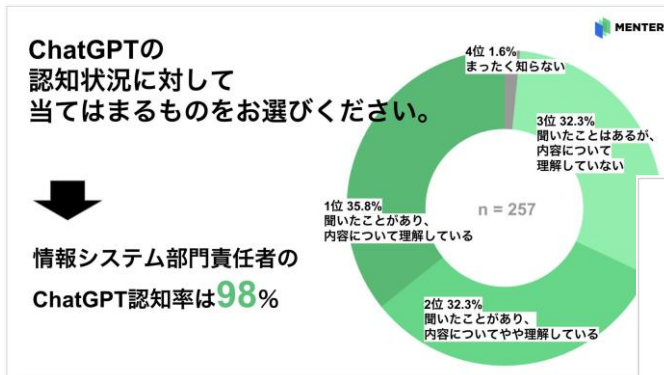
はい、「PowerGenAI」はMicrosoft Azureを基盤としているため、AzureのPaaS機能を活用して他のプラットフォームやシステムと連携させることが可能です。具体的な連携方法や要件については、お客様のニーズに応じて提案させていただきます。

### Q：どのような言語に対応していますか？

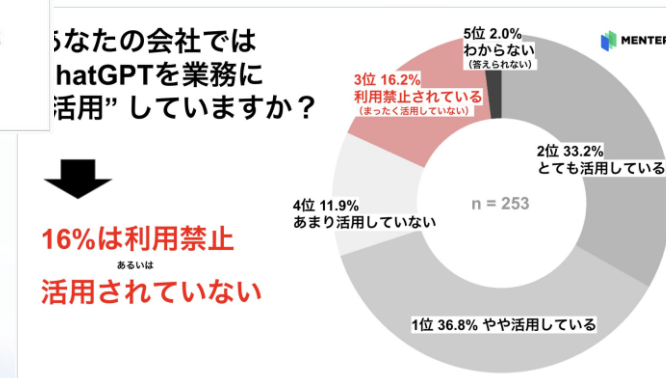
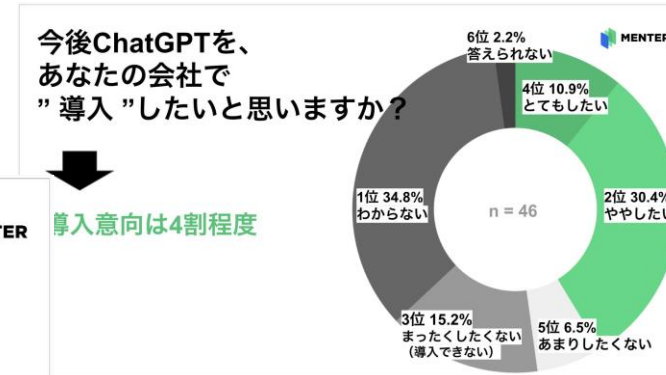
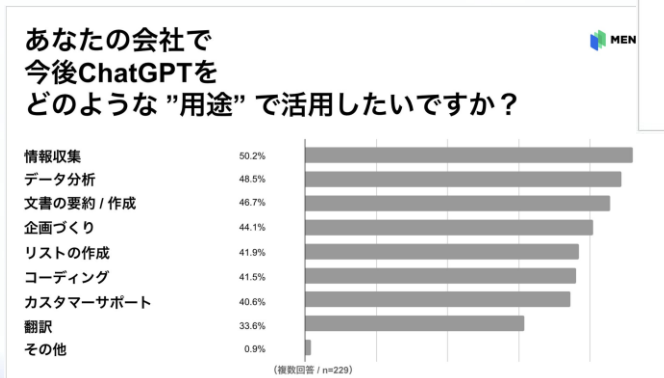
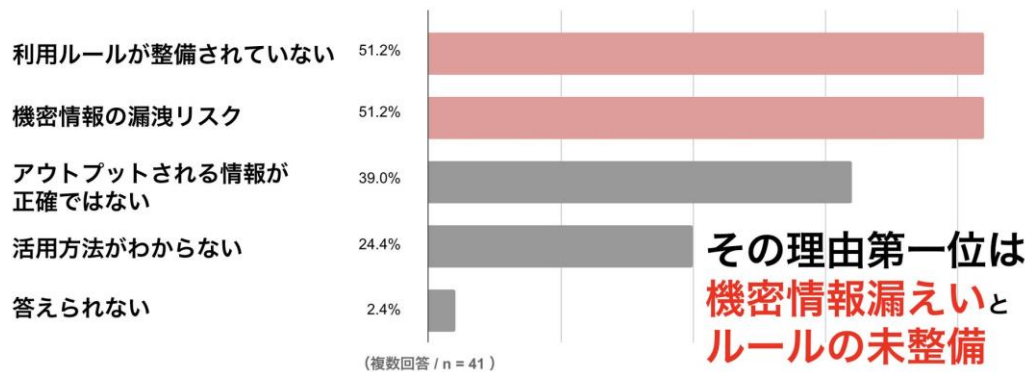
「PowerGenAI」はGPT-4を利用しており、多言語に対応しています。ただし、対応言語や精度にはバリエーションがありますので、具体的な言語対応やご要望についてはお問い合わせいただくか、資料をご参照ください。

# Appendix





### ChatGPTを活用していない/禁止されている“理由”は？



## Azure OpenAI Service の一般提供開始 大規模かつ高度な AI モデルへのアクセスを拡大し、企業に付加価値を提供

2023年1月23日 | Japan News Center

AI プラットフォーム担当コーポレートバイスプレジデント  
エリック ボイド (Eric Boyd)

※本ブログは、米国時間 1月 16日に公開された [“General availability of Azure OpenAI Service expands access to large, advanced AI models with added enterprise benefits”](#) の抄訳を基に掲載しています。

人々がイノベーションを起こし、重要な問題解決に AI を適用し、未来の可能性を創造していくために不可欠なプラットフォームとして、大規模言語モデルが急速に普及しつつあります。本日、AI の民主化に向けたマイクロソフトの長期的取り組み、そして、[OpenAI との継続的パートナーシップ](#)の一環として、Azure OpenAI Service の一般提供開始を発表します。

[Azure OpenAI Service](#) の一般提供開始により、Microsoft Azure の信頼できるエンタープライズ級機能と AI に最適化されたインフラに支えられた GPT-3.5、Codex、DALL-E 2 などの世界最先端の AI モデルへのアクセスにより、最先端のアプリケーションを構築する企業が増加するでしょう。また、GPT-3.5 をチューニングし、Azure AI インフラ上で学習・推論を行う ChatGPT が、Azure OpenAI Service を通じて近日中に利用可能になる予定です。

## マイクロソフトの主要な AI ブレークスルーのタイムライン



## みずほフィナンシャル・グループ様

### デジタル・トランスフォーメーション（DX）加速に向けた、日本マイクロソフト株式会社のAzure OpenAI Serviceの活用検討開始について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕）は、このたび、業務効率化や新たな価値創出に向けて、傘下のグループ会社とともに日本マイクロソフト株式会社（以下、「マイクロソフト」）が提供するAzure OpenAI Service（以下「Azure」）の活用を検討を開始しました。

〈みずほ〉は、これまで、グループ企業の先端技術・専門性・IT実装力を活かした金融に関するお客さまのペインポイントの解消、地域活性化や自治体のDX推進などさまざまな社会課題の解決に向けたサポート、あらゆるパートナー企業とのアライアンスによる新たなテクノロジーを活用した商品・サービスの開発など、グループをあげてDX推進に取り組んできました<sup>※1</sup>。

Azureは、ChatGPTをはじめとするコンテンツ生成、要約、セマンティック検索<sup>※2</sup>などを実現できる最新の生成AIモデルを、クラウド上で利用できるサービスです。今回の検討にあたっては、稟議書や契約書の作成サポート、事務手続やシステムに関する社員からの照会対応、自然言語を介した金融に関するデータ収集やプログラミング言語のコード生成など、あらゆるシーンでの活用を想定しています。

また、技術の有用性の確認とあわせて、セキュリティ面など安全に利用できる環境の整備を進めています。Azureは、マイクロソフトが厳格なセキュリティ基準やコンプライアンス要件に基づいて開発・運用していますが、〈みずほ〉としても自社のセキュリティポリシーに沿って適切な管理体制を構築していきます。また、お客さまの情報や機密情報の保護など情報の取り扱いについては、法令・諸規則を遵守のうえ、厳格に対応します。

〈みずほ〉は、今後も、新たなテクノロジーの活用に向けたあらゆるシステムやツールの検討・導入を進めることで、DXの取り組みを一層加速させるとともに、お客さまや経済・社会の発展に貢献していきます。

〔※1〕 ブランドサイト：「MIZUHO DX」 <https://www.mizuho-fg.co.jp/dx/index.html>

〔※2〕 セマンティック検索：キーワードをはじめとする入力情報に含まれる「検索ユーザの意図・目的」を検索エンジンが適切に理解し、ユーザの求めるものに即した検索結果を提供するという概念、またはそのための技術

以上

## ベネッセホールディングス様

### 社内AIチャット「Benesse GPT」をグループ社員1.5万人に向けて提供開始

セキュリティ面を考慮しMicrosoft Azure上で独自システムにて運用グループ社員が「業務生産性向上」と「新商品サービスの検討」を積極化できる環境を構築

株式会社ベネッセホールディングス

2023年4月14日 11時30分



株式会社ベネッセホールディングス（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：小林 仁、以下：ベネッセ）は、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区）が同社のパブリッククラウド Microsoft Azure上で提供するAzure OpenAI Serviceを活用したAIチャットサービスの運用を、本日よりグループ社員約15,000人の向けに運用開始します。



<トップ画面>

ベネッセは全社戦略に基づき、2021年より社長直下に、情報システム部門、人材育成部門、コンサル部門が一体となる組織としてDigital Innovation Partners(DIP)を設置、全社横断的にDXを推進しています。

教育・介護を中心に、人生のあらゆるステージで活用していただけるサービスを提供するベネッセは、お客様にとってよりよいサービスの開発に向け様々な最新技術の検証を実施しており、ChatGPTについてもDIPが主体となり現場開発者と共に活用を検討、議論を重ねてまいりました。

## 日清食品ホールディングス様

### セキュリティ対策を施したMicrosoft Azure上で独自システムを開発！ 対話型AI「NISSIN-GPT」をグループ社員3,600人に向け4月25日(火)に公開

業務生産性を向上し、創造的な活動に注力できる環境を提供 近日中に最新モデル「GPT-4」を適用予定

日清食品ホールディングス株式会社

2023年4月25日 17時33分



日清食品ホールディングス株式会社（社長・CEO:安藤 宏基）は、日本マイクロソフト株式会社が提供するAzure OpenAI ServiceとMicrosoft Power Platformを活用して独自開発した対話型AI「NISSIN-GPT」を、日清食品グループの国内事業会社（一部を除く）の社員約3,600人に向けて2023年4月25日(火)に公開しました。



日清食品グループは、中長期成長戦略において「NBX (NISSIN Business Transformation)」を全社活動テーマとして掲げ、純粋なデジタル化に留まらないビジネスモデル自体の変革を目指した取り組みを進めています。

今回、日清食品グループの社員が最新のAI技術を活用できるよう、Azure OpenAI ServiceとMicrosoft Power Platformを活用した独自の対話型AI「NISSIN-GPT」を開発しました。

「NISSIN-GPT」では、グループ社員が入力した情報がAI学習に利用されず、外部に情報が漏洩する心配がありません。そのため、グループ社員はセキュリティに配慮した環境において、いつでも安心して対話型AIを業務に活用することができます。

また、対話型AIから得られた情報にはプライバシー、コンプライアンス、フェイクなどの問題が潜んでいることから、情報の二次利用に関するリスクを「チキンラーメン」のキャラクター「ひよこちゃん」を活用して注意喚起することで、グループ社員のリテラシー向上を図っています。

今後は、AI技術の進展を見据えながら業務への活用方法を議論・検討していくとともに、「NISSIN-GPT」も継続的にバージョンアップをしていく予定です。

日清食品グループは、最新技術を活用して業務の生産性を向上し、グループ社員がより多くの時間を創造的な活動に費やすための取り組みを進めていきます。

クラウドに新しい力（価値）をプラスしてお客様のビジネスを変革します



クラウドに、テクノロジーであたらしい力をプラスし、世界中のお客様のデジタル変革（デジタルテクノロジーによるビジネスイノベーション）を実現する。

弊社サービスに関するお問い合わせ・ご相談は下記メールまで

[ap-sales@azpower.co.jp](mailto:ap-sales@azpower.co.jp)

AZPower株式会社